

事務事業評価調書

施策体系	交流五国				所管課班	県民生活課ふるさと交流班			
事業名	ふれあいの祭典の開催（平成元年度～）				連絡先	078-362-3992			
事業に要するコスト	区分	29年度決算額		30年度決算額		元年度当初予算額		2年度当初予算額	
	事業費①	20,000千円		35,000千円		20,000千円		20,000千円	
	経費内訳	報酬・賃金	0千円		0千円		0千円		0千円
		委託料	0千円		0千円		0千円		0千円
		補助金・交付金	19,800千円		34,800千円		19,800千円		19,800千円
		貸付金	0千円		0千円		0千円		0千円
		その他需用費等	200千円		200千円		200千円		200千円
	（財源内訳）	（国庫支出金）	(10,000千円)		(15,000千円)		(10,000千円)		(10,000千円)
		（県債）	(0千円)		(0千円)		(0千円)		(0千円)
		（その他〔地域振興基金・地域創生基金〕）	(10,000千円)		(20,000千円)		(10,000千円)		(0千円)
		（一般財源）	(0千円)		(0千円)		(0千円)		(10,000千円)
	人件費②（a+b+c）	従事人員	3.0人		3.0人		3.0人		3.0人
			27,111千円		26,031千円		26,712千円		26,949千円
		職員給与費 a	23,523千円		23,448千円		23,124千円		23,085千円
		賞与引当金繰入額 b	1,635千円		1,644千円		1,635千円		1,644千円
退職手当引当金繰入額 c		1,953千円		939千円		1,953千円		2,220千円	
総コスト（①+②）	従事人員	3.0人		3.0人		3.0人		3.0人	
		47,111千円		61,031千円		46,712千円		46,949千円	
	[うち事業拡大分]	[0千円]		[15,000千円]		[0千円]		[0千円]	
事業目的の達成度を示す指標	指標名	区分	29年度実績	30年度実績	元年度見込	2年度目標	最終目標【年度】		
	ふれあいの祭典来場者数 （活力あるふるさと兵庫実現プログラム）	目標	50,000	100,000	55,000	57,500	60,000		
		実績（見込）	32,000	107,000	(57,000)	(57,500)	【令和3年度】		
		（単位当たりコスト）	(1千円)	(1千円)	(1千円)	(1千円)			
		[うち事業拡大分]	[0千円]	[0千円]	[0千円]	[0千円]			
達成率（見込）	64.0%	107.0%	(103.6%)	(100.0%)					
評価	<ul style="list-style-type: none"> ・（開催地域が持ち回りであるため）開催地域の人口や会場の交通利便性、開催当日の天候に大きく左右されるものの、令和元年度においては目標を上回る来場者数があった。 ・普段関わりが少ない世代間や団体間の幅広い交流が祭典を通じて生まれ、将来を担う地域の人材育成や地域づくり活動団体のパワーアップを図る場として有効に活用されている。 ・多くの人々が地域や兵庫県の魅力を発見し、地域づくり活動の活性化や新たな交流の契機となる場として有効であると評価できる。 ・引き続き企画内容を工夫し、更なる来場者数の増加や満足度の向上に努める。 								
3年目の見直し	-								

事務事業評価調書

施策体系	交流五国				所管課班	地域創生課			
事業名	首都圏等での“ひょうご五国”の認知度向上事業（平成28年度～）				連絡先	078-362-4263			
事業に要するコスト	区分	29年度決算額		30年度決算額		元年度当初予算額		2年度当初予算額	
	事業費①	47,302千円		46,558千円		27,695千円		27,695千円	
	経費内訳	報酬・賃金	0千円		0千円		0千円		0千円
		委託料	45,662千円		45,877千円		26,314千円		21,495千円
		補助金・交付金	0千円		0千円		0千円		0千円
		貸付金	0千円		0千円		0千円		0千円
		その他需用費等	1,640千円		681千円		1,381千円		6,200千円
	（財源内訳）	（国庫支出金）	(23,651千円)		(23,279千円)		(13,847千円)		(13,847千円)
		（県債）	(0千円)		(0千円)		(0千円)		(0千円)
		（その他[基金]）	(23,651千円)		(23,279千円)		(13,848千円)		(0千円)
		（一般財源）	(0千円)		(0千円)		(0千円)		(13,848千円)
	人件費②（a+b+c）	従事人員	3.0人		3.0人		3.0人		3.0人
			27,111千円		26,031千円		26,712千円		26,949千円
		職員給与費 a	23,523千円		23,448千円		23,124千円		23,085千円
		賞与引当金繰入額 b	1,635千円		1,644千円		1,635千円		1,644千円
退職手当引当金繰入額 c		1,953千円		939千円		1,953千円		2,220千円	
総コスト（①+②）	従事人員	3.0人		3.0人		3.0人		3.0人	
		74,413千円		72,589千円		54,407千円		54,644千円	
	[うち事業拡大分]	[0千円]		[0千円]		[0千円]		[0千円]	
事業目的の達成度を示す指標	指標名	区分	29年度実績	30年度実績	元年度見込	2年度目標	最終目標【年度】		
	移住相談件数(累計) (地域創生アクション・プラン) ※R2年度のアクション・プランは現在策定作業中であり、目標値が変更となる場合がある。	目標	3,800	6,200	12,300	25,200	—		
		実績(見込)	6,098	11,409	(18,000)	(25,200)			
		(単位当たりコスト)	(12千円)	(14千円)	(8千円)	(8千円)			
		[うち事業拡大分]	—	—	—	—			
	達成率(見込)	160.5%	184.0%	(146.3%)	(100.0%)				
	カムバックひょうごセンターでの相談を経由した移住者数(累計) (地域創生アクション・プラン) ※R2年度のアクション・プランは現在策定作業中であり、目標値が変更となる場合がある。	目標	48	78	108	138	—		
		実績(見込)	48	107	(150)	(180)			
		(単位当たりコスト)	(1,550千円)	(1,230千円)	(1,265千円)	(1,821千円)			
		[うち事業拡大分]	—	—	—	—			
達成率(見込)	100.0%	137.2%	(138.9%)	(130.4%)					
評価	<ul style="list-style-type: none"> ・社会増対策の一環として県外人口の流入を促進するためには、首都圏及び関西圏等における“兵庫の認知度向上”を図る本事業の実施が不可欠である。 ・令和元年度は、ひょうごe-県民制度やカムバックひょうごセンター等と連携し、首都圏及び関西圏における兵庫の認知度向上を図り、移住・定住人口、関係人口の拡大を図ることができた。 ・引き続き、関係人口の捕捉等、第二期地域創生戦略に沿って、首都圏・関西圏を中心に人口流入の流れをつくる。 								
3年目の見直し	-								

事務事業評価調書

施策体系		交流五国		所管課班		広報戦略課広報戦略班				
事業名		広報活動の推進		連絡先		078-362-9023				
事業に要するコスト	区 分	29年度決算額		30年度決算額		元年度当初予算額		2年度当初予算額		
	事業費①	569,983 千円		575,535 千円		593,711 千円		584,723 千円		
	経費内訳	報酬・賃金	20,690 千円		27,941 千円		28,425 千円		23,076 千円	
		委託料	489,898 千円		471,010 千円		514,871 千円		495,740 千円	
		補助金・交付金	7,535 千円		7,535 千円		7,535 千円		7,535 千円	
		貸付金	0 千円		0 千円		0 千円		0 千円	
		その他需用費等	51,860 千円		69,049 千円		42,880 千円		58,372 千円	
	(財源内訳)	(国庫支出金)	(9,699千円)		(0千円)		(14,630千円)		(9,630千円)	
		(県債)	(0千円)		(0千円)		(0千円)		(0千円)	
		(その他[広告料収入、地域創生基金繰入金(地域振興基金繰入金)])	(107,147千円)		(91,192千円)		(75,680千円)		(60,911千円)	
		(一般財源)	(453,137千円)		(484,343千円)		(503,401千円)		(514,182千円)	
	人件費② (a+b+c)	従事人員	18.0人		18.0人		19.0人		19.0人	
			162,666 千円		156,186 千円		169,176 千円		170,677 千円	
		職員給与費 a	141,138 千円		140,688 千円		146,452 千円		146,205 千円	
		賞与引当金繰入額 b	9,810 千円		9,864 千円		10,355 千円		10,412 千円	
退職手当引当金繰入額 c		11,718 千円		5,634 千円		12,369 千円		14,060 千円		
総コスト (①+②)	従事人員	18.0人		18.0人		19.0人		19.0人		
		732,649 千円		731,721 千円		762,887 千円		755,400 千円		
	[うち事業拡大分]	[20,399千円]		[53,337千円]		[10,000千円]		[0千円]		
事業目的の達成度を示す指標	指標名	区 分	29年度実績	30年度実績	元年度見込	2年度目標	最終目標【年度】			
	広報官等による職員研修の受講人数	目 標	-	-	500	500	500			
		実績(見込)	-	564	(685)	(685)				
		(単位当たりコスト)	-	-	-	-				
		[うち事業拡大分]	-	-	-	-				
	達成率(見込)	-	-	(137.0%)	(137.0%)					
	インターネットを活用した県広報媒体効果測定調査で「広報活動の認知」に対し「知っている」と回答した割合 ※調査は平成30年度から実施 ※()内は総コスト/兵庫県人口 (各年度1月1日時点) H30 5,481千人 H31 5,481千人 R2 5,460千人	目 標	-	-	57.0%	59.0%	65.0%			
		実績(見込)	-	56.2%	(62.6%)	(62.6%)	【令和5年度】			
(単位当たりコスト)		-	(133.5円)	(139.2円)	(138.4円)					
[うち事業拡大分]		-	(9.7円)	(1.8円)	-					
達成率(見込)	-	-	(109.8%)	(106.1%)						
評 価	<p>・県民の福祉(幸せ)、豊かな地域社会の実現のため、各事業において、県政の基本姿勢である「県民の参画と協働」を促進する広報を展開し、県政情報を的確に分かりやすく、そして県の魅力を強力に発信することが必要である。</p> <p>そのため、専門人材である広報官等による統一コンセプトのもと、各事業に対する戦略的な指導・助言や職員研修等を通じ県庁全体の広報力強化を行うとともに、本県の魅力(五国の多様性、県民主役・地域主導)に基づくブランディング戦略に取り組んでいる。</p> <p>・R元年度は、職員研修(685件)や約400件の指導・助言を行い、ポスター・パンフレットのデザイン等が大きく変わり、県民目線での広報展開が着実に進んでいる。また、ブランディング戦略では、「兵庫五国連邦(U5H)プロジェクト」において、エピソード投稿数が千件を越えるなど、地域への誇りや愛着の醸成、県内企業との連携も進んでいる。</p> <p>R2年度は、県民局への巡回研修やSNSの活用を強化する職員研修の実施や、「兵庫五国連邦(U5H)プロジェクト」における協働パートナーの拡大など、広報力のさらなる強化に取り組む。</p>									
3年目の見直し	-									

事務事業評価調書

施策体系	交流五国				所管課班	地域創生課			
事業名	首都圏等からの兵庫への移住促進（平成27年度～）				連絡先	078-362-4373			
事業に要するコスト	区分	29年度決算額		30年度決算額		元年度当初予算額		2年度当初予算額	
	事業費①	45,033千円		44,978千円		45,108千円		45,297千円	
	経費内訳	報酬・賃金	5,860千円		5,860千円		5,860千円		6,666千円
		委託料	18,529千円		18,397千円		19,048千円		16,362千円
		補助金・交付金	76千円		50千円		50千円		50千円
		貸付金	0千円		0千円		0千円		0千円
		その他需用費等	20,568千円		20,671千円		20,150千円		22,219千円
	（財源内訳）	（国庫支出金）	(22,516千円)		(22,489千円)		(22,554千円)		(22,648千円)
		（県債）	(0千円)		(0千円)		(0千円)		(0千円)
		（その他[基金]）	(0千円)		(22,489千円)		(22,554千円)		(0千円)
		（一般財源）	(22,517千円)		(0千円)		(0千円)		(22,649千円)
	人件費②（a+b+c）	従事人員	3.0人		3.0人		3.0人		3.0人
			27,111千円		26,031千円		26,712千円		26,949千円
		職員給与費 a	23,523千円		23,448千円		23,124千円		23,085千円
		賞与引当金繰入額 b	1,635千円		1,644千円		1,635千円		1,644千円
退職手当引当金繰入額 c		1,953千円		939千円		1,953千円		2,220千円	
総コスト（①+②）	従事人員	3.0人		3.0人		3.0人		3.0人	
		72,144千円		71,009千円		71,820千円		72,246千円	
	[うち事業拡大分]	[0千円]		[0千円]		[0千円]		[0千円]	
事業目的の達成度を示す指標	指標名	区分	29年度実績	30年度実績	元年度見込	2年度目標	最終目標【年度】		
	移住相談件数（累計） （地域創生アクション・プラン） ※R2年度のアクション・プランは現在策定作業中であり、目標値が変更となる場合がある。	目標	3,800	6,200	12,300	25,200	—		
		実績（見込）	6,098	11,409	(18,000)	(25,200)			
		（単位当たりコスト）	(12千円)	(13千円)	(11千円)	(10千円)			
		[うち事業拡大分]	—	—	—	—			
	達成率（見込）	160.5%	184.0%	(146.3%)	(100.0%)				
	カムバックひょうごセンターでの相談を経由した移住者数（累計） （地域創生アクション・プラン） ※R2年度のアクション・プランは現在策定作業中であり、目標値が変更となる場合がある。	目標	48	78	108	138	—		
		実績（見込）	48	107	(150)	(180)			
（単位当たりコスト）		(1,503千円)	(1,204千円)	(1,670千円)	(2,408千円)				
[うち事業拡大分]		—	—	—	—				
達成率（見込）	100.0%	137.2%	(138.9%)	(130.4%)					
評価	<ul style="list-style-type: none"> ・本県からの主な人口転出先となっている首都圏及び関西圏での情報発信力を強化し、UJIターンを促進する必要がある。 ・東京及び神戸のカムバックひょうごセンターにおける移住相談は、首都圏及び関西圏での情報発信力強化や移住希望者の負担軽減などにより、兵庫県への移住者増加の効果が期待できることから、政策目的と照らし合わせて事業の実施は妥当である。 ・相談実績・移住者数ともに目標を上回るペースで増加し、東京・神戸の両センターの運営が軌道に乗っていることに加え、新たに設置する東京センターのサテライト窓口を活用し、相談実績・移住者数のさらなる増加につなげるなど、今後も着実に事業を実施する。 								
3年目の見直し	—								

事務事業評価調書

施策体系		交流五国		所管課班		広聴課広聴相談班				
事業名		県民交流バス事業（平成30年度～）※H29は「走る県民教室実施費」を記載		連絡先		078-362-3022				
事業に要するコスト	区 分	29年度決算額		30年度決算額		元年度当初予算額		2年度当初予算額		
	事業費①	40,017千円		44,082千円		57,542千円		60,042千円		
	経費内訳	報酬・賃金	0千円		0千円		0千円		0千円	
		委託料	0千円		0千円		0千円		0千円	
		補助金・交付金	40,017千円		43,793千円		57,250千円		59,750千円	
		貸付金	0千円		0千円		0千円		0千円	
		その他需用費等	224千円		289千円		292千円		292千円	
	（財源内訳）	（国庫支出金）	(3,250千円)		(14,941千円)		(28,771千円)		(30,021千円)	
		（県債）	(0千円)		(0千円)		(0千円)		(0千円)	
		（その他[地域創生基金]）	(36,767千円)		(29,141千円)		(28,771千円)		(0千円)	
		（一般財源）	(0千円)		(0千円)		(0千円)		(30,021千円)	
	人件費②（a+b+c）	従事人員	4.8人		4.8人		4.8人		4.8人	
			43,378千円		41,649千円		42,739千円		43,118千円	
		職員給与費 a	37,637千円		37,517千円		36,998千円		36,936千円	
		賞与引当金繰入額 b	2,616千円		2,630千円		2,616千円		2,630千円	
退職手当引当金繰入額 c		3,125千円		1,502千円		3,125千円		3,552千円		
総コスト（①+②）	従事人員	4.8人		4.8人		4.8人		4.8人		
		83,395千円		85,731千円		100,281千円		103,160千円		
	[うち事業拡大分]	[0千円]		[0千円]		[0千円]		[0千円]		
事業目的の達成度を示す指標	指標名	区 分	29年度実績	30年度実績	元年度見込	2年度目標	最終目標【年度】			
		目 標	2,000	2,000	通常分1,500 特別枠 500	通常分 1,300 特別枠 (五国) 500 (花みどり) 300	2,000			
	実施台数 (地域創生戦略アクションプラン(事業KPI))	実績(見込)	1,478	1,647	通常(1,386) 特別(403)	通常分 1,300 特別枠 (五国) 500 (花みどり) 300	/			
		(単位当たりコスト)	(56千円)	(52千円)	(56千円)	(49千円)				
		[うち事業拡大分]	[0千円]	[0千円]	[0千円]	[0千円]				
		達成率(見込)	73.9%	82.4%	(89.4%)	(100.0%)				
	県民局管外への見学台数割合	目 標	91.5%	91.5%	93.0%	94.0%	94.0%			
		実績(見込)	86.5%	92.6%	(94.0%)	(94.0%)	/			
		(単位当たりコスト)	-	-	-	-				
		[うち事業拡大分]	-	-	-	-				
達成率(見込)	94.5%	101.2%	(101.1%)	(100.0%)						
評価	<ul style="list-style-type: none"> 県民主体の地域間交流を目的に補助要件を見直したところ、対前年比110%の効果を得た。 (㊸1,478台→㊸1,647台) 令和元年度には、日本遺産の認定を受けて盛り上がる地域をはじめ、ひょうご五国の宝である地域遺産を巡るコース特別枠「ひょうご五国めぐり」を新設し約80%の執行が見込まれる。 (予定台数500台、実績見込み403台) 令和2年度は、特別枠「淡路花博20周年記念 花みどりフェア」を設け300台を確保。通常分及び特別枠(五国)を含めた県民交流バス実施台数を100台増やし2,100台とし、自然や歴史・食文化など淡路島の魅力を発信する花みどりフェアを盛り上げる。 									
	3年目の見直し	-								

事務事業評価調書

施策体系	交流五国				所管課班	地域創生課			
事業名	ひょうごe-県民登録事業				連絡先	078-362-4374			
事業に要するコスト	区 分	29年度決算額	30年度決算額	元年度当初予算額	2年度当初予算額				
	事業費①	—	—	81,296千円	48,478千円				
	経費内訳	報酬・賃金	—	—	0千円	0千円			
		委託料	—	—	77,896千円	46,778千円			
		補助金・交付金	—	—	0千円	0千円			
		貸付金	—	—	0千円	0千円			
		その他需用費等	—	—	3,400千円	1,700千円			
	(財源内訳)	(国庫支出金)	—	—	(39,212千円)	(20,627千円)			
		(県債)	—	—	(0千円)	(0千円)			
		(その他[基金、寄付金])	—	—	(42,084千円)	(7,224千円)			
		(一般財源)	—	—	(0千円)	(20,627千円)			
	人件費② (a+b+c)	従事人員	—	—	3.0人	従事人員	3.0人		
			0千円	0千円	26,712千円	26,949千円			
		職員給与費 a	—	—	23,124千円	23,085千円			
		賞与引当金繰入額 b	—	—	1,635千円	1,644千円			
退職手当引当金繰入額 c		—	—	1,953千円	2,220千円				
総コスト (①+②)	従事人員	—	—	3.0人	従事人員	3.0人			
		—	—	108,008千円	75,427千円				
	[うち事業拡大分]	—	—	[0千円]	[0千円]				
事業目的の達成度を示す指標	指標名	区 分	29年度実績	30年度実績	元年度見込	2年度目標	最終目標【年度】		
	ひょうごe-県民の登録者数(地域創生アクション・プラン) ※R2年度のアクション・プランは現在策定作業中であり、目標値が変更となる場合がある。	目 標	—	—	20,000	20,000	—		
		実績(見込)	—	—	(28,000)	(20,000)			
		(単位当たりコスト)	—	—	(4千円)	(4千円)			
		[うち事業拡大分]	—	—	—	—			
達成率(見込)	—	—	(140.0%)	(100.0%)					
評 価	<ul style="list-style-type: none"> ・首都圏や大阪府等への人口流出が続く一方で、本県から転出し全国で活躍する兵庫にゆかりのある人の力を活用し、地域の元気づくりに活かしていくために、兵庫県と県外在住者とのネットワーク化が必要である。 ・令和元年度は28,000人を超える方に登録いただき、スマートフォン向けアプリを通じた県内情報の配信やオンラインショップの開設により、関係人口の拡大、ひょうごe-県民登録者とのネットワーク化を図ることができた。 ・転出超過や少子高齢化により地域の担い手確保が課題となる中、定住人口でも交流人口でもない関係人口を活用した地域の元気づくりが期待できることから、政策目的と照らし合わせて事業の実施は妥当である。 								
3年目の見直し	—								

事務事業評価調書

施策体系	交流五国				所管課班	国際交流課地域国際化班			
事業名	ひょうご多文化共生総合相談センターの運営（令和元年度～）				連絡先	078-362-3025			
事業に要するコスト	区分	29年度決算額	30年度決算額	元年度当初予算額	2年度当初予算額				
	事業費①	—	—	40,237千円	42,909千円				
	経費内訳	報酬・賃金	—	—	0千円	0千円			
		委託料	—	—	40,237千円	42,909千円			
		補助金・交付金	—	—	0千円	0千円			
		貸付金	—	—	0千円	0千円			
		その他需用費等	—	—	0千円	0千円			
	（財源内訳）	（国庫支出金）	—	—	(10,000千円)	(10,000千円)			
		（県債）	—	—	(0千円)	(0千円)			
		（その他[]）	—	—	(0千円)	(0千円)			
		（一般財源）	—	—	(30,237千円)	(32,909千円)			
	人件費②（a+b+c）	従事人員	—	—	0.1人	0.1人			
			—	—	891千円	899千円			
		職員給与費 a	—	—	771千円	770千円			
		賞与引当金繰入額 b	—	—	55千円	55千円			
退職手当引当金繰入額 c		—	—	65千円	74千円				
総コスト（①+②）	従事人員	—	—	0.1人	0.1人				
		—	—	41,128千円	43,808千円				
	[うち事業拡大分]	—	—	[0千円]	[0千円]				
事業目的の達成度を示す指標	指標名	区分	29年度実績	30年度実績	元年度見込	2年度目標	最終目標【年度】		
		目 標	—	—	3,000	3,000			
	相談件数	実績（見込）	—	—	(2,890)	(3,000)	/		
		（単位当たりコスト）	—	—	(14千円)	(15千円)			
		[うち事業拡大分]	—	—	—	—			
		達成率（見込）	—	—	(96.3%)	(100.0%)			
	おすまいの市・町は、外国人にも住みやすくなっていると思う人の割合（県民意識調査）	目 標	—	—	20.0%	20.0%	/		
		実績（見込）	—	—	25.7%	20.0%			
		（単位当たりコスト）	—	—	(0千円)	(0千円)			
		[うち事業拡大分]	—	—	—	—			
達成率（見込）	—	—	(128.5%)	(100.0%)					
評価	<p>・国の「外国人材の受入れ・共生のための総合的対応策」を受けて、法務省の交付金を活用し、外国人県民インフォメーションセンターによる平日相談に加え、NPO団体と連携した週末相談のほか、翻訳サービス等を活用した11言語対応する「ひょうご多文化共生総合相談センター」を運営し、今後、増加が見込まれる県内に居住する外国人県民の生活相談に対応。</p>								
3年目の見直し	—								

事務事業評価調書

施策体系	交流五国				所管課班	観光振興課ツーリズム政策班			
事業名	「五つ星ひょうご」プロモーション事業（平成28年度～）				連絡先	078-362-3317			
事業に要するコスト	区分	29年度決算額	30年度決算額	元年度当初予算額	2年度当初予算額				
	事業費①	24,000千円	24,000千円	24,000千円	24,000千円				
	経費内訳	報酬・賃金	0千円	0千円	0千円	0千円			
		委託料	24,000千円	24,000千円	24,000千円	24,000千円			
		補助金・交付金	0千円	0千円	0千円	0千円			
		貸付金	0千円	0千円	0千円	0千円			
		その他需用費等	0千円	0千円	0千円	0千円			
	（財源内訳）	（国庫支出金）	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)			
		（県債）	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)			
		（その他[]）	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)			
		（一般財源）	(24,000千円)	(24,000千円)	(24,000千円)	(24,000千円)			
	人件費②（a+b+c）	従事人員	0.5人	0.5人	0.5人	0.5人			
			4,520千円	4,339千円	4,453千円	4,492千円			
		職員給与費 a	3,921千円	3,908千円	3,854千円	3,848千円			
		賞与引当金繰入額 b	273千円	274千円	273千円	274千円			
退職手当引当金繰入額 c		326千円	157千円	326千円	370千円				
総コスト（①+②）	従事人員	0.5人	0.5人	0.5人	0.5人				
		28,520千円	28,339千円	28,453千円	28,492千円				
	[うち事業拡大分]	[0千円]	[0千円]	[0千円]	[0千円]				
事業目的の達成度を示す指標	指標名	区分	29年度実績	30年度実績	元年度見込	2年度目標	最終目標【年度】		
	五つ星ひょうご選定商品数（活力あるふるさと兵庫実現プログラム）	目標		50商品	50商品	50商品	50商品		
		実績（見込）		87商品	69商品	(68商品)	(50商品)		
		（単位当たりコスト）		—	—	—	—		
		[うち事業拡大分]		—	—	—	—		
	達成率（見込）		174.0%	138.0%	(136.0%)	(100.0%)			
	兵庫県の魅力度 ※(株)ブランド総合研究所「地域ブランド調査」	目標		10位以内	10位以内	10位以内	10位以内		
		実績（見込）		12位	12位	(12位)	(10位)		
（単位当たりコスト）			—	—	—	—			
[うち事業拡大分]			—	—	—	—			
達成率（見込）		—	—	—	—				
評価	<ul style="list-style-type: none"> ・情報発信や展示販売等により特産品プロモーションを全国に向けPRすることにより、兵庫県特産品のブランドイメージの定着・向上を図ることに寄与する。 ・県内特産品の宣伝・紹介を行う唯一の県域団体である(公社)兵庫県物産協会が新規商品開拓から商品選定、物産展の開催等の各種プロモーションまでトータルコーディネートを行い、効率的な執行を図っている。 ・新規商品開拓を進め、R1年度は68商品を五つ星ひょうごとして選定し、目標達成。今後は新規選定商品PR等を行い魅力度アップに努める。 								
3年目の見直し	—								

事務事業評価調書

施策体系	交流五国				所管課班	観光振興課ツーリズム政策班			
事業名	観光産業の人材確保・育成事業（平成28年度～）				連絡先	078-362-3317			
事業に要するコスト	区分	29年度決算額		30年度決算額		元年度当初予算額		2年度当初予算額	
	事業費①	10,000千円		10,000千円		7,000千円		7,000千円	
	経費内訳	報酬・賃金	50千円		50千円		50千円		50千円
		委託料	6,813千円		7,700千円		5,793千円		4,793千円
		補助金・交付金	2,887千円		2,000千円		907千円		1,907千円
		貸付金	0千円		0千円		0千円		0千円
		その他需用費等	250千円		250千円		250千円		250千円
	（財源内訳）	（国庫支出金）	(4,999千円)		(5,000千円)		(3,500千円)		(0千円)
		（県債）	(0千円)		(0千円)		(0千円)		(0千円)
		（その他[基金繰入金]）	(5,001千円)		(5,000千円)		(3,500千円)		(0千円)
		（一般財源）	(0千円)		(0千円)		(0千円)		(7,000千円)
	人件費②（a+b+c）	従事人員	0.5人		0.5人		0.5人		0.5人
			4,520千円		4,339千円		4,453千円		4,492千円
		職員給与費 a	3,921千円		3,908千円		3,854千円		3,848千円
		賞与引当金繰入額 b	273千円		274千円		273千円		274千円
退職手当引当金繰入額 c		326千円		157千円		326千円		370千円	
総コスト（①+②）	従事人員	0.5人		0.5人		0.5人		0.5人	
		14,520千円		14,339千円		11,453千円		11,492千円	
	[うち事業拡大分]	[0千円]		[0千円]		[0千円]		[0千円]	
事業目的の達成度を示す指標	指標名	区分	29年度実績	30年度実績	元年度見込	2年度目標	最終目標【年度】		
		セミナー・研究会参加者数（地域創生アクションプラン）	目標	50人	50人	50人	50人		
		実績（見込）	54人	51人	(50人)	(50人)			
		（単位当たりコスト）	(269千円)	(281千円)	(229千円)	(230千円)			
		[うち事業拡大分]	—	—	—	—			
		達成率（見込）	108.0%	102.0%	(100.0%)	(100.0%)			
	インターンシップ参加者数	目標	50人	50人	50人	50人			
		実績（見込）	77人	62人	(50人)	(50人)			
		（単位当たりコスト）	(189千円)	(231千円)	(229千円)	(230千円)			
		[うち事業拡大分]	—	—	—	—			
	達成率（見込）	154.0%	124.0%	(100.0%)	(100.0%)				
評価	<ul style="list-style-type: none"> ・旅館等では人材の確保・育成が非常に困難な状況にあるため、観光産業のやりがい・魅力の発信を行い業界のイメージアップを図るとともに、地元への愛着等の醸成により観光産業に携わる人材の裾野拡大を図ることに寄与することを目的として実施している。 ・企画提案コンペによる民間活力の活用や、地域の実情に応じて関係機関（旅館組合、観光協会、大学、民間事業者等）と連携することにより、効果的・効率的な執行を行っている。 ・民間事業者・大学等と連携することにより、平成30年度は説明会及びインターンシップの目標参加人数を達成。今後もイメージアップ等を図り、目標達成を図る。 								
3年目の見直し	—								

事務事業評価調書

施策体系	交流五国				所管課班	観光振興課ツーリズム政策班				
事業名	神戸ルミナリエ開催事業（平成9年度～）				連絡先	078-362-3616				
事業に要するコスト	区分	29年度決算額		30年度当初予算額		元年度当初予算額		2年度当初予算額		
	事業費①	45,170千円		45,300千円		45,300千円		35,300千円		
	経費内訳	報酬・賃金	0千円		0千円		0千円		0千円	
		委託料	0千円		0千円		0千円		0千円	
		補助金・交付金	45,170千円		45,300千円		45,300千円		35,300千円	
		貸付金	0千円		0千円		0千円		0千円	
		その他需用費等	0千円		0千円		0千円		0千円	
	（財源内訳）	（国庫支出金）	(0千円)		(0千円)		(0千円)		(0千円)	
		（県債）	(0千円)		(0千円)		(0千円)		(0千円)	
		（その他〔地域創生基金、ふるさとひょうご寄附基金等〕）	(45,170千円)		(45,300千円)		(45,300千円)		(35,300千円)	
		（一般財源）	(0千円)		(0千円)		(0千円)		(0千円)	
	人件費②（a+b+c）	従事人員	0.2人		0.2人		0.2人		0.2人	
			1,807千円		1,736千円		1,781千円		1,797千円	
		職員給与費 a	1,568千円		1,563千円		1,542千円		1,539千円	
		賞与引当金繰入額 b	109千円		110千円		109千円		110千円	
退職手当引当金繰入額 c		130千円		63千円		130千円		148千円		
総コスト（①+②）	従事人員	0.2人		0.2人		0.2人		0.2人		
		46,977千円		47,036千円		47,081千円		37,097千円		
	〔うち事業拡大分〕	[0千円]		[0千円]		[0千円]		[0千円]		
事業目的の達成度を示す指標	来場者数 （活力あるふるさとひょうご実現プログラム指標）	指標名	区分	29年度実績	30年度実績	元年度見込	2年度目標	最終目標【年度】		
		目標		350万人	350万人	350万人	350万人			
		実績（見込）		340万人	343万人	(347万人)	(350万人)			
		（単位当たりコスト）		(138千円)	(137千円)	(136千円)	(106千円)			
		〔うち事業拡大分〕		—	—	—	—			
	達成率（見込）		97.1%	98.0%	(99.1%)	(100.0%)				
	来場者評価 （神戸ルミナリエ組織委員会「神戸ルミナリエ評価・効果測定調査」）	目標		「好印象」95%以上	「好印象」95%以上	「好印象」95%以上	「好印象」95%以上			
		実績（見込）		98.3%	98.0%	(98.0%)	(95.0%)			
		（単位当たりコスト）		—	—	—	—			
		〔うち事業拡大分〕		—	—	—	—			
達成率（見込）			103.5%	103.5%	(103.5%)	(100.0%)				
評価	<p>・神戸ルミナリエは、阪神・淡路大震災犠牲者の鎮魂と都市の復興・再生を託して開催され、人々に希望と勇気をもたらすイメージシンボルの役割を担っているため、継続開催の必要がある。</p> <p>・毎年300万人以上の来場者が訪れており、観光振興面で非常に効果が高い。</p> <p>・H29～30年度は、神戸港開港150年・県政150周年記念として作品内容を拡充した効果により来場者数が目標値の98%ととなったが、令和元年度は前年度よりさらに43,000人増え、目標値の99.1%となった。</p> <p>・今後も、インバウンド客に対して夜の観光振興としての魅力を発信したり、国内外への効果的なプロモーションを実施するなど様々な取組を総合的に推進することにより目標達成に努める。</p>									
3年目の見直し	—									

事務事業評価調書

施策体系	交流五国				所管課班	観光振興課ツーリズム政策班			
事業名	あいたい兵庫キャンペーン2020実施事業（令和2年度～）				連絡先	078-362-9159			
事業に要するコスト	区 分	29年度決算額		30年度当初予算額		元年度当初予算額		2年度当初予算額	
	事業費①	43,000千円		43,000千円		40,000千円		40,000千円	
	経費内訳	報酬・賃金	0千円		0千円		0千円		0千円
		委託料	0千円		0千円		0千円		0千円
		補助金・交付金	43,000千円		43,000千円		40,000千円		40,000千円
		貸付金	0千円		0千円		0千円		0千円
		その他需用費等	0千円		0千円		0千円		0千円
	（財源内訳）	（国庫支出金）	(21,500千円)		(21,500千円)		(20,000千円)		(20,000千円)
		（県債）	(0千円)		(0千円)		(0千円)		(0千円)
		（その他[基金繰入金]）	(21,500千円)		(21,500千円)		(20,000千円)		(20,000千円)
		（一般財源）	(0千円)		(0千円)		(0千円)		(0千円)
	人件費②（a+b+c）	従事人員	1.0人		1.0人		1.0人		1.0人
			9,037千円		8,677千円		8,904千円		8,983千円
		職員給与費 a	7,841千円		7,816千円		7,708千円		7,695千円
		賞与引当金繰入額 b	545千円		548千円		545千円		548千円
退職手当引当金繰入額 c		651千円		313千円		651千円		740千円	
総コスト（①+②）	従事人員	1.0人		1.0人		1.0人		1.0人	
		52,037千円		51,677千円		48,904千円		48,983千円	
	[うち事業拡大分]	[0千円]		[0千円]		[0千円]		[0千円]	
事業目的の達成度を示す指標	指標名	区 分	29年度実績	30年度実績	元年度見込	2年度目標	最終目標【年度】		
	県内主要観光施設の観光入込客数の対前年度比平均伸び率 (地方創生戦略アクションプラン)	目 標	110.0%	110.0%	110.0%	110.0%	-		
		実績（見込）	106.7%	110.0%	(110.0%)	(110.0%)			
		(単位当たりコスト)	-	-	-	-			
		[うち事業拡大分]	-	-	-	-			
	達成率（見込）	97.0%	100.0%	(100.0%)	(100.0%)				
	観光入込客数 (活力あるふるさと兵庫実現プログラム)	目 標	143百万人	147百万人	150百万人	150百万人			
		実績（見込）	139百万人	137百万人	(150百万人)	(150百万人)			
		(単位当たりコスト)	(374千円)	(377千円)	(326千円)	(327千円)			
		[うち事業拡大分]	-	-	-	-			
達成率（見込）	97.2%	93.2%	(100.0%)	(100.0%)					
評価	<ul style="list-style-type: none"> ・着実に県外からの観光客入込数の確保を図るためには、あいたい兵庫 destinations キャンペーン(H21年)等で得られたノウハウや成果を活かし、継続的に観光客の誘致に取り組む必要がある。 ・ツーリズムについての専門的知識と豊かな経験を有し、市町や観光協会、観光関連企業等と緊密な連携関係があるひょうご観光本部を事業主体として実施している。 ・県内主要観光施設の観光客入り込み数の対前年度比平均伸び率については、気候や社会情勢により目標(110%)に達していないこともあるが、前年以上の入り込み数は達成している。 								
3年目の見直し	—								

事務事業評価調書

施策体系	交流五国			所管課班	観光振興課ツーリズム政策班			
事業名	ひょうごツーリズムバス実施事業（平成13年度～）			連絡先	078-362-3317			
事業に要するコスト	区分	29年度決算額	30年度決算額	元年度当初予算額	2年度当初予算額			
	事業費①	53,808千円	56,596千円	56,596千円	56,596千円			
	経費内訳	報酬・賃金	0千円	0千円	0千円	0千円		
		委託料	0千円	0千円	0千円	0千円		
		補助金・交付金	53,808千円	56,596千円	56,596千円	56,596千円		
		貸付金	0千円	0千円	0千円	0千円		
		その他需用費等	0千円	0千円	0千円	0千円		
	（財源内訳）	（国庫支出金）	(26,154千円)	(28,298千円)	(28,298千円)	(28,298千円)		
		（県債）	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)		
		（その他〔地域振興基金、H30～地域創生基金〕）	(27,654千円)	(28,298千円)	(28,298千円)	(28,298千円)		
		（一般財源）	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)		
	人件費②（a+b+c）	従事人員	0.5人	0.5人	0.5人	0.5人		
			4,520千円	4,339千円	4,453千円	4,492千円		
		職員給与費 a	3,921千円	3,908千円	3,854千円	3,848千円		
		賞与引当金繰入額 b	273千円	274千円	273千円	274千円		
退職手当引当金繰入額 c		326千円	157千円	326千円	370千円			
総コスト（①+②）	従事人員	0.5人	0.5人	0.5人	0.5人			
		58,328千円	60,935千円	61,049千円	61,088千円			
	[うち事業拡大分]	[0千円]	[0千円]	[2,788千円]	[2,824千円]			
事業目的の達成度を示す指標	指標名	区分	29年度実績	30年度実績	元年度見込	2年度目標	最終目標【年度】	
		バス助成台数(地域創生アクションプラン)	目 標	2200台	2200台	2400台	2400台	
		実績(見込)	1985台	2215台	(2400台)	(2400台)		
		(単位当たりコスト)	(29千円)	(28千円)	(25千円)	(25千円)		
		[うち事業拡大分]	-	-	-	-		
	達成率(見込)	90.2%	100.7%	(100.0%)	(100.0%)			
	観光入込客数(活力あるふるさと兵庫実現プログラム)	目 標	143百万人	147百万人	150百万人	150百万人		
		実績(見込)	139百万人	137百万人	(150百万人)	(150百万人)		
		(単位当たりコスト)	(420千円)	(445千円)	(407千円)	(407千円)		
		[うち事業拡大分]	-	-	-	-		
達成率(見込)		97.2%	93.2%	(100.0%)	(100.0%)			
評価	<ul style="list-style-type: none"> ・本県へのバスを活用した旅行に対して助成を行うことは、国内外からの観光客の本県への誘致に大きく寄与する。 ・(公社)ひょうご観光本部に補助することにより、同本部が申請受付から実施確認、助成金支払いまで一括して行っており、効率的な執行を図っている。 ・約2,200台のバス助成を行っていることは、旅行先を選ぶ際の大きなインセンティブになっていると考えられる。 							
	3年目の見直し	—						

事務事業評価調書

施策体系	交流五国			所管課班	国際観光課国際ツーリズム班			
事業名	インバウンド対策推進に向けたDMO参画事業（平成25年度～）			連絡先	078-362-3697			
事業に要するコスト	区分	29年度決算額	30年度当初予算額	元年度当初予算額	2年度当初予算額			
	事業費①	16,650千円	16,650千円	16,650千円	16,650千円			
	経費内訳	報酬・賃金	0千円	0千円	0千円	0千円		
		委託料	0千円	0千円	0千円	0千円		
		補助金・交付金	16,650千円	16,650千円	16,650千円	16,650千円		
		貸付金	0千円	0千円	0千円	0千円		
		その他需用費等	0千円	0千円	0千円	0千円		
	（財源内訳）	（国庫支出金）	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)		
		（県債）	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)		
		（その他[]）	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)		
		（一般財源）	(16,650千円)	(16,650千円)	(16,650千円)	(16,650千円)		
	人件費②（a+b+c）	従事人員	0.3人	0.3人	0.3人	0.3人		
			2,711千円	2,603千円	2,671千円	2,695千円		
		職員給与費 a	2,352千円	2,345千円	2,312千円	2,309千円		
		賞与引当金繰入額 b	164千円	164千円	164千円	164千円		
退職手当引当金繰入額 c		195千円	94千円	195千円	222千円			
総コスト（①+②）	従事人員	0.3人	0.3人	0.3人	0.3人			
		19,361千円	19,253千円	19,321千円	19,345千円			
	[うち事業拡大分]	[0千円]	[0千円]	[0千円]	[0千円]			
事業目的の達成度を示す指標	指標名	区分	29年度実績	30年度実績	元年度見込	2年度目標	最終目標【2年度】	
			瀬戸内7県への外国人延べ宿泊者数	目標	364	430		508
		実績（見込）	350	(382)	(508)	(600)		
		（単位当たりコスト）	(55千円)	(50千円)	(38千円)	(32千円)		
		[うち事業拡大分]	-	-	-	-		
		達成率（見込）	96.2%	88.8%	(100.0%)	(100.0%)		
	訪日外客数(兵庫県) (地域創生戦略事業進捗指標) (活力あるふるさと兵庫実現プログラム目標) (単位:万人)	目標	180	214	260	300	600	
		実績（見込）	158	(187)	(192)	(300)		
		（単位当たりコスト）	(123千円)	(103千円)	(101千円)	(64千円)		
		[うち事業拡大分]	-	-	-	-		
	達成率（見込）	87.8%	87.4%	(73.8%)	(100.0%)			
評価	<ul style="list-style-type: none"> 海外からの誘客を促進するため、広域エリア全体を俯瞰しマネジメントできる官民連携組織として事業を展開 民間企業からの負担金や国費の活用など、コスト削減に取り組むとともに、民間の人材も活用し、より効率的・効果的な事業を実施 							
	3年目の見直し	—						

事務事業評価調書

施策体系	交流五国			所管課班	観光振興課ツーリズム政策班			
事業名	観光地魅力アップ支援事業（平成29年度～）			連絡先	078-362-3317			
事業に要するコスト	区 分		29年度決算額	30年度決算額	元年度当初予算額	2年度当初予算額		
	事業費①		10,000 千円	10,000 千円	10,000 千円	—		
	経費内訳	報酬・賃金	0 千円	0 千円	0 千円	—		
		委託料	0 千円	0 千円	0 千円	—		
		補助金・交付金	10,000 千円	10,000 千円	10,000 千円	—		
		貸付金	0 千円	0 千円	0 千円	—		
		その他需用費等	0 千円	0 千円	0 千円	—		
	（財源内訳）	（国庫支出金）	—	(0千円)	(0千円)	—		
		（県債）	—	(0千円)	(0千円)	—		
		（その他[]）	—	(0千円)	(0千円)	—		
		（一般財源）	—	(10,000千円)	(10,000千円)	—		
	人件費②（a+b+c）		従事人員	—	従事人員	0.2人	従事人員	0.2人
			—	1,736 千円	1,781 千円	—		
職員給与費 a		—	1,563 千円	1,542 千円	—			
賞与引当金繰入額 b		—	110 千円	109 千円	—			
退職手当引当金繰入額 c		—	63 千円	130 千円	—			
総コスト（①+②）		従事人員	—	従事人員	0.2人	従事人員	0.2人	
			10,000 千円	11,736 千円	11,781 千円	—		
[うち事業拡大分]			[0千円]	[0千円]	[0千円]	—		
事業目的の達成度を示す指標	指標名		区 分	29年度実績	30年度実績	元年度見込	2年度目標	最終目標【年度】
	新たな観光資源数 （地域創生アクションプラン）		目 標	3	3	3	—	
			実績（見込）	3	3	3	—	
			（単位当たりコスト）	—	—	—	—	
			[うち事業拡大分]	—	—	—	—	
	観光入込客数 （活力あるふるさと兵庫実現プログラム）		目 標	143百万人	147百万人	150百万人	—	
			実績（見込）	139百万人	147百万人	(150百万人)	—	
			（単位当たりコスト）	72千円	80千円	79千円	—	
			[うち事業拡大分]	—	—	—	—	
			達成率（見込）	97.2%	100.0%	(100.0%)	—	
評 価	<p>・旅行者のニーズは多様化しており、さらなる誘客を図るためにテーマ性のあるツーリズムを提案・推進する必要があるため本事業を実施した。</p> <p>・ツーリズム振興に知見が高く、観光関連団体等と連携関係にある（公社）ひょうご観光本部は、地域情報を集積している。また、誘客効果や地域への波及・将来性等について、民間の視点やノウハウに基づき事業を実施しており、効率的・効果的な運営を行った。</p> <p>・新たな観光資源数については、着実に目標を達成してきており、県内観光客増加に一定の効果があったといえる。</p> <p>・R2は、さらなる滞在型観光促進のため体験型コンテンツ開発に事業を組み替えることからインバウンドプロモーション事業へ統合</p>							
3年目の見直し	—							

事務事業評価調書

施策体系	交流五国			所管課班	国際観光課国際ツーリズム班				
事業名	インバウンド受入体制整備促進事業（平成27年度～）			連絡先	078-362-3697				
事業に要するコスト	区分	29年度決算額	30年度当初予算額	元年度当初予算額	2年度当初予算額				
	事業費①	40,000千円	37,000千円	37,000千円	-				
	経費内訳	報酬・賃金	0千円	0千円	0千円	-			
		委託料	0千円	0千円	0千円	-			
		補助金・交付金	40,000千円	37,000千円	37,000千円	-			
		貸付金	0千円	0千円	0千円	-			
		その他需用費等	0千円	0千円	0千円	-			
	（財源内訳）	（国庫支出金）	(20,000千円)	(0千円)	(0千円)	-			
		（県債）	(0千円)	(0千円)	(0千円)	-			
		（その他【地域創生基金】）	(0千円)	(37,000千円)	(0千円)	-			
		（一般財源）	(20,000千円)	(0千円)	(37,000千円)	-			
	人件費②（a+b+c）	従事人員	0.2人	従事人員	0.2人	従事人員	0.2人	従事人員	-
			1,807千円	1,774千円	1,781千円	-			
		職員給与費 a	1,568千円	1,535千円	1,542千円	-			
		賞与引当金繰入額 b	109千円	109千円	109千円	-			
退職手当引当金繰入額 c		130千円	130千円	130千円	-				
総コスト（①+②）	従事人員	0.2人	従事人員	0.2人	従事人員	0.2人	従事人員	-	
		41,807千円	38,774千円	38,781千円	-				
	【うち事業拡大分】	[0千円]	[0千円]	[0千円]	-				
事業目的の達成度を示す指標	指標名	区分	29年度実績	30年度実績	元年度見込	2年度目標	最終目標【2年度】		
		外国人受入基盤整備支援団体数	目標	15	15	15	-		
		実績（見込）	21	16	(19)	-			
		（単位当たりコスト）	(1,991千円)	(2,423千円)	(2,041千円)	-			
		【うち事業拡大分】	-	-	-	-			
		達成率（見込）	140.0%	106.7%	(126.7%)	-			
	訪日外客数（兵庫県）（地域創生戦略事業進捗指標）（活力あるふるさと兵庫実現プログラム目標）（単位：万人）	目標	180	214	260	-	600		
		実績（見込）	158	187	(192)	-	【R12】		
		（単位当たりコスト）	(265千円)	(207千円)	(202千円)	-			
		【うち事業拡大分】	-	-	-	-			
	達成率（見込）	87.8%	87.4%	(73.8%)	-				
評価	<ul style="list-style-type: none"> ・訪日外客数が増加する中、急務である受入基盤整備を実施する。 ・地域の観光振興を担う観光協会等を事業実施主体とした効率的な受入基盤整備により、本県へ訪れる外国人旅行者の増加につながった。 ・R2は、さらなる滞在型観光促進のため、受入基盤整備を体験型コンテンツ開発に事業を組み替え、インバウンドプロモーション事業へ統合する。 								
	3年目の見直し	-							

事務事業評価調査

施策体系	交流五国			所管課班	国際観光課国際ツーリズム班			
事業名	インバウンドプロモーション事業（平成29年度～）			連絡先	078-362-3340			
事業に要するコスト	区分	29年度決算額	30年度決算額	元年度当初予算額	2年度当初予算額			
	事業費①	38,426千円	45,754千円	34,603千円	82,129千円			
	経費内訳	報酬・賃金	0千円	0千円	0千円	0千円		
		委託料	2,420千円	0千円	0千円	0千円		
		補助金・交付金	36,006千円	45,754千円	34,603千円	82,129千円		
		貸付金	0千円	0千円	0千円	0千円		
		その他需用費等	0千円	0千円	0千円	0千円		
	（財源内訳）	（国庫支出金）	(19,213千円)	(23,751千円)	(14,999千円)	(19,007千円)		
		（県債）	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)		
		（その他〔地域創生基金〕）	(0千円)	(22,003千円)	(14,999千円)	(0千円)		
		（一般財源）	(19,213千円)	(0千円)	(4,605千円)	(63,122千円)		
	人件費②（a+b+c）	従事人員	1.0人	1.0人	1.0人	1.0人		
			9,037千円	8,677千円	8,904千円	8,983千円		
		職員給与費 a	7,841千円	7,816千円	7,708千円	7,695千円		
		賞与引当金繰入額 b	545千円	548千円	545千円	548千円		
退職手当引当金繰入額 c		651千円	313千円	651千円	740千円			
総コスト（①+②）	従事人員	1.0人	1.0人	1.0人	1.0人			
		47,463千円	54,431千円	43,507千円	91,112千円			
	[うち事業拡大分]	[0千円]	[7,328千円]	[0千円]	[47,526千円]			
事業目的の達成度を示す指標	指標名	区分	29年度実績	30年度実績	元年度見込	2年度目標	最終目標【年度】	
	訪日外客数（兵庫県） （地域創生戦略事業進捗指標） （活力あるふるさと兵庫実現プログラム目標） （単位：万人）	目標	180	214	260	300	600	
		実績（見込）	158	187	(192)	(300)	【R12】	
		（単位当たりコスト）	(300千円)	(291千円)	(227千円)	(304千円)	/	
		[うち事業拡大分]	[0千円]	[39千円]	[0千円]	[158千円]		
	達成率（見込）	87.8%	87.4%	(73.8%)	(100.0%)			
	海外プロモーション件数 （地域創生戦略事業進捗指標）	目標	12	24	36	48	109	
		実績（見込）	13	38	(49)	(61)	【R6】	
		（単位当たりコスト）	(3,651千円)	(1,432千円)	(888千円)	(1,494千円)	/	
		[うち事業拡大分]	[0千円]	[193千円]	[0千円]	[779千円]		
達成率（見込）	108.3%	158.3%	(136.1%)	(127.1%)				
評価	<ul style="list-style-type: none"> ・「ひょうごツーリズム戦略」（H29～R1）に基づき、海外プロモーションをはじめとした誘客の取組を総合的に実施 ・本県を訪れる外国人旅行者は着実に増加している。近隣府県からの流入・周遊拡大に向けた取組みを継続 ・事業実施にあたっては、民間事業者や広域DMOとの連携、国制度の活用等により、効率化・コスト削減に取組む。 ・R2は、既存事業に加え、さらなる滞在型観光の促進のため、体験型コンテンツの開発に向けた取組を実施する。 							
3年目の見直し	—							

事務事業評価調書

施策体系	交流五国			所管課班	国際観光課国際ツーリズム班			
事業名	ゴールドenspーツイヤーズを捉えたインバウンド誘客事業（令和元年度～）			連絡先	078-362-3340			
事業に要するコスト	区分	29年度決算額	30年度決算額	元年度当初予算額	2年度当初予算額			
	事業費①	—	—	27,744千円	18,242千円			
	経費内訳	報酬・賃金	—	—	0千円	0千円		
		委託料	—	—	0千円	0千円		
		補助金・交付金	—	—	27,744千円	18,242千円		
		貸付金	—	—	0千円	0千円		
		その他需用費等	—	—	0千円	0千円		
	（財源内訳）	（国庫支出金）	—	—	(0千円)	(5,580千円)		
		（県債）	—	—	(0千円)	(0千円)		
		（その他[地域創生基金]）	—	—	(0千円)	(0千円)		
		（一般財源）	—	—	(27,744千円)	(12,662千円)		
	人件費②（a+b+c）	従事人員	—	—	1.0人	1.0人		
			—	—	8,904千円	8,983千円		
		職員給与費 a	—	—	7,708千円	7,695千円		
		賞与引当金繰入額 b	—	—	545千円	548千円		
退職手当引当金繰入額 c		—	—	651千円	740千円			
総コスト（①+②）	従事人員	—	—	1.0人	1.0人			
		—	—	36,648千円	27,225千円			
	[うち事業拡大分]	—	—	[0千円]	[0千円]			
事業目的の達成度を示す指標	指標名	区分	29年度実績	30年度実績	元年度見込	2年度目標	最終目標【年度】	
	訪日外客数(兵庫県)(地域創生戦略事業進捗指標) (活力あるふるさと兵庫実現プログラム目標) (単位:万人)	目標	—	—	260	300	600	
		実績(見込)	—	—	(192)	(300)	【R12】	
		(単位当たりコスト)	—	—	(191千円)	(91千円)	/	
		[うち事業拡大分]	—	—	[0千円]	[0千円]		
	達成率(見込)	—	—	(73.8%)	(100.0%)			
	海外プロモーション件数(地域創生戦略事業進捗指標)	目標	—	—	36	48	109	
		実績(見込)	—	—	(49)	(61)	【R6】	
		(単位当たりコスト)	—	—	(748千円)	(446千円)	/	
		[うち事業拡大分]	—	—	[0千円]	[0千円]		
達成率(見込)	—	—	(136.1%)	(127.1%)				
評価	<ul style="list-style-type: none"> ・ゴールドenspーツイヤーズは海外から日本・関西への関心が高まる好機であり、事業の必要性は高い。 ・「RWC2019日本大会」開催に向けた欧州現地セミナー、旅ナカ（日本旅行中）外国人への情報発信、オンライン広告等、多角的なプロモーションに取組み、本県への誘客促進を図った。 ・引き続き、世界的なメディア・オンライン事業者等と連携し、効果的な事業展開を図る。 							
	3年目の見直し	—						

事務事業評価調書

施策体系	交流五国				所管課班	空港政策課運営企画班			
事業名	但馬路線運航対策事業（平成7年度～）				連絡先	078-362-3561			
事業に要するコスト	区分	29年度決算額		30年度決算額		元年度当初予算額		2年度当初予算額	
	事業費①	199,878千円		190,181千円		145,570千円		182,200千円	
	経費内訳	報酬・賃金	0千円		0千円		0千円		0千円
		委託料	0千円		0千円		0千円		0千円
		補助金・交付金	199,878千円		190,181千円		145,570千円		182,200千円
		貸付金	0千円		0千円		0千円		0千円
		その他需用費等	0千円		0千円		0千円		0千円
	（財源内訳）	（国庫支出金）	(0千円)		(0千円)		(0千円)		(0千円)
		（県債）	(0千円)		(0千円)		(0千円)		(0千円)
		（その他〔地域創生基金繰入金〕）	(199,878千円)		(190,181千円)		(145,570千円)		(0千円)
		（一般財源）	(0千円)		(0千円)		(0千円)		(182,200千円)
	人件費②（a+b+c）	従事人員	0.1人		0.1人		0.1人		0.1人
			904千円		868千円		891千円		899千円
		職員給与費 a	784千円		782千円		771千円		770千円
		賞与引当金繰入額 b	55千円		55千円		55千円		55千円
退職手当引当金繰入額 c		65千円		31千円		65千円		74千円	
総コスト（①+②）	従事人員	0.1人		0.1人		0.1人		0.1人	
		200,782千円		191,049千円		146,461千円		183,099千円	
	〔うち事業拡大分〕	[0千円]		[0千円]		[0千円]		[0千円]	
事業目的の達成度を示す指標	指標名	区分	29年度実績	30年度実績	元年度見込	2年度目標	最終目標【年度】		
	但馬空港旅客数〔単年〕 （活力あるふるさと兵庫実現プログラム）	目標	33,000人	37,000人	45,000人	46,500人	48,000人		
		実績（見込）	31,967人	42,220人	(45,000人)	(46,500人)	【R3年度】		
		（単位当たりコスト）	(6千円)	(5千円)	(3千円)	(4千円)			
		〔うち事業拡大分〕	—	—	—	—			
	達成率（見込）	96.9%	114.1%	(100.0%)	(100.0%)				
	—	目標	—	—	—	—	—		
		実績（見込）	—	—	—	—	—		
		（単位当たりコスト）	—	—	—	—	—		
		〔うち事業拡大分〕	—	—	—	—	—		
達成率（見込）	—	—	—	—	—				
評価	<ul style="list-style-type: none"> ・但馬－伊丹路線は、伊丹空港を経由して全国につながる貴重な高速移動手段であり、交流人口を拡大し地域活性化を図る上で、今後も維持が必要。 ・運航で生じた前年度の欠損補填は、運航事業者から県に提示されている運航条件であり、路線維持には当補助事業の実施が不可欠。 ・地元や運航事業者等と連携し、利用促進を図ってきた結果、当該路線の利用者数は順調に伸びてきており、R2年度はR元年度見込み（事業費182,483千円、総コスト183,374千円）と比べ、総コストが減少する見込み。 								
3年目の見直し									

事務事業評価調査

施策体系	交流五国				所管課班	交通政策課地域交通班				
事業名	バス対策事業（昭和47年～）				連絡先	078-362-3885				
事業に要するコスト	区分	29年度決算額		30年度決算額		元年度当初予算額		2年度当初予算額		
	事業費①	431,950千円		138,012千円		140,043千円		149,632千円		
	経費内訳	報酬・賃金	0千円		0千円		0千円		0千円	
		委託料	0千円		0千円		0千円		0千円	
		補助金・交付金	431,950千円		138,012千円		140,043千円		149,632千円	
		貸付金	0千円		0千円		0千円		0千円	
		その他需用費等	0千円		0千円		0千円		0千円	
	（財源内訳）	（国庫支出金）	(0千円)		(0千円)		(0千円)		(0千円)	
		（県債）	(0千円)		(0千円)		(0千円)		(0千円)	
		（その他[]）	(0千円)		(0千円)		(0千円)		(0千円)	
		（一般財源）	(431,950千円)		(138,012千円)		(140,043千円)		(149,632千円)	
	人件費②（a+b+c）	従事人員	0.6人		0.6人		0.6人		0.6人	
			5,423千円		5,207千円		5,343千円		5,390千円	
		職員給与費 a	4,705千円		4,690千円		4,625千円		4,617千円	
		賞与引当金繰入額 b	327千円		329千円		327千円		329千円	
退職手当引当金繰入額 c		391千円		188千円		391千円		444千円		
総コスト（①+②）	従事人員	0.6人		0.6人		0.6人		0.6人		
		437,373千円		143,219千円		145,386千円		155,022千円		
	〔うち事業拡大分〕	[0千円]		[0千円]		[0千円]		[0千円]		
事業目的の達成度を示す指標	公共交通分担率 （ひょうご公共交通10カ年計画）	指標	10年毎に実施の近畿圏ハートリップ調査による。（22年度実績：35%）				35%		最終目標【年度】	
		実績（見込）							【R2年度】	
		（単位当たりコスト）	-				-		/	
		〔うち事業拡大分〕	-				-			
	支援対象路線の輸送人員	指標	7,375千人	7,873千人	7,877千人	8,007千人	-			
		実績（見込）	7,877千人	8,038千人	(8,220千人)	(8,007千人)				
		（単位当たりコスト）	(56千円)	(18千円)	(18千円)	(19千円)				
		〔うち事業拡大分〕	-	-	-	-				
達成率（見込）	106.8%	102.1%	(104.4%)	(100.0%)						
評価	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の減少等により、路線維持が困難な状況にある中で、通勤・通学、通院、買い物等の住民の日常生活を支える生活交通バスを維持・確保するため、国や関係自治体とともに、路線バスやコミュニティバスの運行を支援する必要がある。 ・県と市町の役割分担を踏まえた負担割合を設定し、市町とともにバスの運行実績に対する評価・改善を継続的に行い、効果的な事業運営を図っている。 ・令和元年度の年間輸送人員は、県、市町、事業者と連携したバスの利用促進の取組等により、目標値を上回る見込み。 									
	3年目の見直し	-								

事務事業評価調書

施策体系		交流五国		所管課班		交通政策課 計画班				
事業名		北近畿タンゴ鉄道上下分離基盤管理費補助（平成27年度～）		連絡先		078-362-3884				
事業に要するコスト	区分	29年度決算額		30年度決算額		元年度当初予算額		2年度当初予算額		
	事業費①	15,456千円		17,006千円		18,559千円		17,913千円		
	経費内訳	報酬・賃金	0千円		0千円		0千円		0千円	
		委託料	0千円		0千円		0千円		0千円	
		補助金・交付金	15,456千円		17,006千円		18,559千円		17,913千円	
		貸付金	0千円		0千円		0千円		0千円	
		その他需用費等	0千円		0千円		0千円		0千円	
	（財源内訳）	（国庫支出金）	(0千円)		(0千円)		(0千円)		(0千円)	
		（県債）	(0千円)		(0千円)		(0千円)		(0千円)	
		（その他[]）	(0千円)		(0千円)		(0千円)		(0千円)	
		（一般財源）	(15,456千円)		(17,006千円)		(18,559千円)		(17,913千円)	
	人件費②（a+b+c）	従事人員	0.2人		0.2人		0.2人		0.2人	
			1,807千円		1,736千円		1,781千円		1,797千円	
		職員給与費 a	1,568千円		1,563千円		1,542千円		1,539千円	
		賞与引当金繰入額 b	109千円		110千円		109千円		110千円	
退職手当引当金繰入額 c		130千円		63千円		130千円		148千円		
総コスト（①+②）	従事人員	0.2人		0.2人		0.2人		0.2人		
		17,263千円		18,742千円		20,340千円		19,710千円		
	[うち事業拡大分]	[0千円]		[0千円]		[0千円]		[0千円]		
事業目的の達成度を示す指標	指標名	区分	29年度実績	30年度実績	元年度見込	2年度目標	最終目標【年度】			
		年間輸送人員	目標	1,950千人	1,975千人	2,000千人	2,000千人	—		
		実績（見込）	1,780千人	1,651千人	(1,660千人)	(2,000千人)	—			
		（単位当たりコスト）	(10千円)	(11千円)	(12千円)	(10千円)	/			
		[うち事業拡大分]	—	—	—	—				
		達成率（見込）	91.3%	83.6%	(83.0%)	(100.0%)				
		目標	—	—	—	—		—		
		実績（見込）	—	—	—	—	—			
		（単位当たりコスト）	—	—	—	—	/			
		[うち事業拡大分]	—	—	—	—				
	達成率（見込）	—	—	—	—					
評価	<ul style="list-style-type: none"> ・ 鉄道沿線地域の生活交通路線であるとともに、地域活性化を図る上でも必要不可欠な路線であるため、関係自治体と協調して支援を行う。 ・ 北近畿タンゴ鉄道沿線地域公共交通網形成計画に基づき、民間事業者のノウハウの活用等により、効率的な事業実施を図っていく。 ・ 消費税増税による出控え傾向がある一方、昨年度に比べ大きな自然災害が少なく安定した運行ができたことから、令和元年度の年間輸送人員は昨年度より微増する見込み。地域や運行会社等と連携した利用促進など、北近畿タンゴ鉄道沿線地域公共交通網形成計画に基づく取組を行うことにより、目標達成に取り組む。 									
3年目の見直し	—									